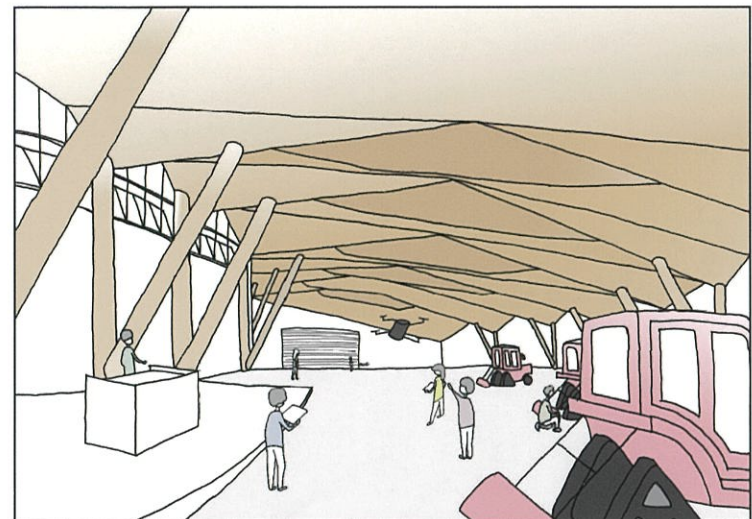


福島における次世代の農業の担い手を育み、スマート農業を促進するために、学生どうしが、学生と教職員が、そして学校と地域がゆるやかにつながる(農の学舎)〔まなびや〕を提案します。

**(1) 福島県農業の持続的発展に向けた先端技術(スマート農業)を学べる施設の在り方に関する提案**

- 座学と実習のスムーズな連携を可能にする教育・研修棟
- ・ほ場からスムーズに出入りできるように、教学関係諸室の集まる研修棟は敷地南東部に配置します。
  - ・専門研修ゼミ室とスマート農業研修室・DIY工房を向かい合わせに配置します。座学と実習を組み合わせ、効率よく学ぶことができます。
  - ・格納庫は道路に面して、格納庫とスマート農業研修室は隣り合わせに配置し、機材をスムーズに搬入・搬出できるようにします。

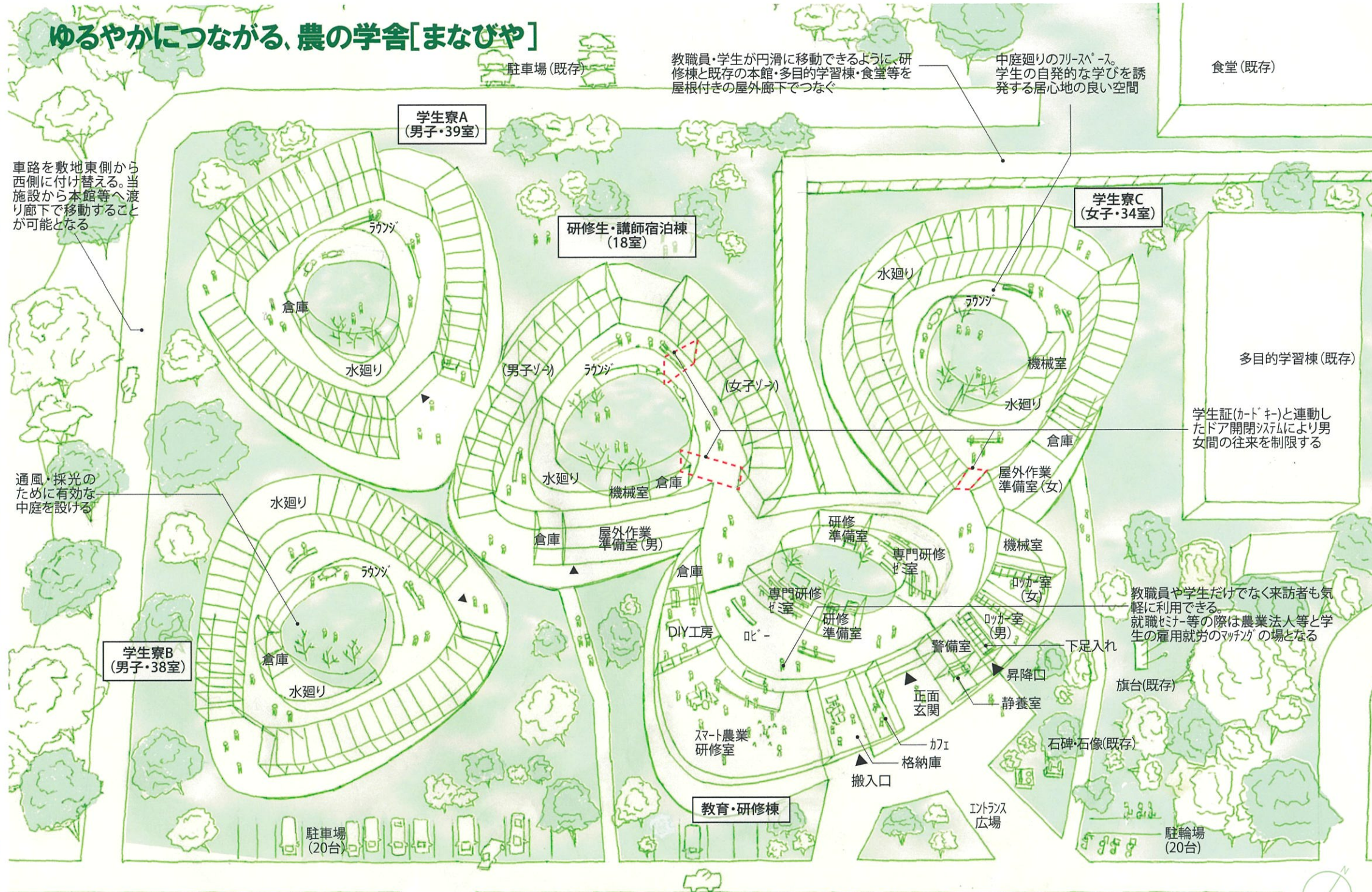


〔スマート農業研修室(展示ホール)〕CLT折版構造の屋根架構に覆われた大空間。農業用ドローンや3Dプリンタを用いた先進的な実習が行われる。

- ・スマート農業研修室は、CLT折版構造のダイナミックな屋根架構に覆われた大空間です。農業用ドローンや3Dプリンタを用いた実習などを通して、学生の創造性を刺激します。
- ・スマート農業研修室は、教壇を囲むように学生が着座できる扇形の平面形をしています。リラックスした雰囲気のもと、機材を用いた教壇での講義に集中できます。
- ・教育・研修棟には、農作用機材を自作できる「DIY工房」を提案します。農作実習や機械操作等の体験を経て、学生は自らの手で農作用機材を開発できるようになります。
- ・DIY工房・スマート農業研修室・DIY工房は、安全性や一般開放を視野に入れ、靴履きそのまま利用できるようにします。



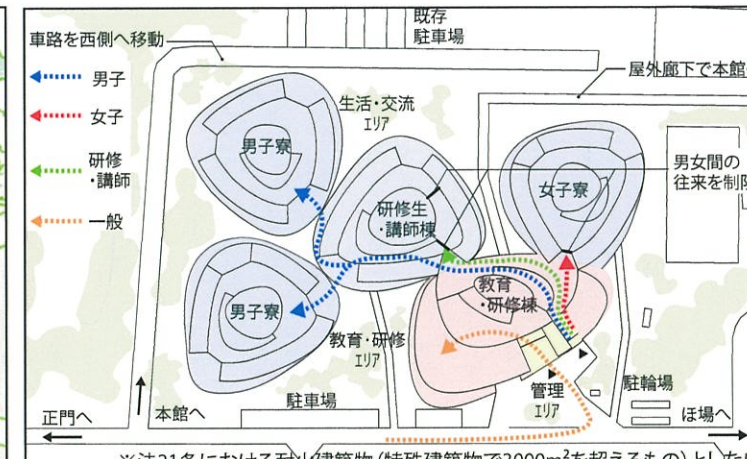
〔DIY工房での工作風景〕旋盤やパネッソー等の一般的な工作機械に加え、NCルーター、レーザー工作機、3Dプリンタ等の最新機器を備えた工房。学生が自らの手で農作用機材を開発・製作できる。



〔配置・平面イメージ図〕教育・研修棟、研修生・講師宿泊棟、男子寮(2棟)、女子寮の5棟を設ける。それぞれの棟は内部空間もしくは屋根のかかった半外部空間(屋外廊下)でつなぐ



〔アプローチからの景観〕柔らかな曲線を帯びた5棟の平屋を近づけたり離したりする事で、緑豊かな周辺環境になじむ景観を生みだす。



〔シミュレーションおよび動線イメージ図〕

